



## SDGsで簡単にできることは？

### ～SDGsの簡単な取り組みで個人ができること～

ツインズグループも新年度を迎えました。気持ちをフレッシュして、また1年頑張ります。

## SDGsで簡単にできること：個人の取り組み

### 1) 節水する。

水は毎日欠かさず使うものであるため、節水はSDGsで簡単にできることといえるでしょう。普段から節水を意識している方も多いかもしれませんが、生活で水を使用するあらゆるシチュエーションを見直すことで、さらなる節水につながるでしょう。

### 2) 紙の無駄遣いを減らす

紙の無駄遣いを減らすこともSDGsで簡単にできることです。紙の無駄遣いは森林資源を無駄にすることにつながり、紙を焼却するためにもエネルギーが必要になります。

### 3) オンライン決済サービスを利用する

普段何気なく利用しているレシート用紙も、心がけ次第で削減できます。オンライン決済サービスを利用すればレシート用紙を削減できることに加え、自宅にいながらも支払いができるので、車などの移動に伴う二酸化炭素排出量削減にも貢献できます。

### 4) 環境に配慮した製品やサービスを利用する

環境に配慮した製品やサービスが近年増えております。二酸化炭素をできるだけ排出しない方法で生産した製品や、使い捨てではなく繰り返し利用できる製品、複数人でシェアできる商品やサービスがその例として挙げられます。

イオングループではLOOPとパートナーシップを結び、リサイクル、リユースに取り組んでいます。  
URL: <https://buydurable.jp/>



### 5) 地元の食材を購入する

地方の過疎化により農畜産業が衰退し、経済的に厳しい状況に置かれている自治体が増加傾向にあります。地元の食材を購入することは、地域活性化につながる簡単な取り組みです。加えて、距離の離れた土地から届いた食材は、輸送の段階でエネルギーを消費し、それだけ二酸化炭素を排出していることとなります。地元の食材を購入することは、輸送エネルギー削減にも貢献するでしょう。

### 6) マイバッグやマイボトルを持ち歩く

マイバッグやマイボトルを持ち歩くことは簡単にできることです。レジ袋やペットボトルはプラスチックでできていますが、適切に回収・分別されなかった場合、その多くが海に流されている現状があります。

### 7) 食品ロスを減らす

日本の食品ロスの半数近くが家庭から発生している現状があります。食品ロスは限りある食料をムダにしてしまうだけでなく、廃棄物処理に多くのエネルギーを使用することになります。食品ロス



できる限り減らすには、食材を買いすぎないことや、これまで使い捨てていた部位でも方法がないかレシピを調べるといった簡単な取り組みをおこなうことが必要不可欠です。

### ～編集後記～

個人のできる取り組み、上の7項目も大事ですが、個人的には節電も頑張ろうと思います。よくテレビを付けっぱなしで寝てしまうので、それはもう止めます！多分…

～取り組みから情報発信まで、

できている企業のランキング～

今回、総合1位に輝いたのは、無印良品を展開する「良品計画」でした。2020年、2021年の連続2位からランクを上げ、初めて総合ランキング1位を獲得しました。もともと素材の選択、工程の点検、包装の簡略化による社会や環境へ配慮したモノづくりを提唱してきましたが、昨年就任した堂前宣夫社長が「地域への土着化」を打ち出し、店舗のある地域と連携して、地元にある課題に積極的に取り組む姿勢を見せていることが高い評価につながったものと思われます。総合2位に輝いたのは、「トヨタ自動車」でした。2015年、「トヨタ環境チャレンジ2050」を発表。6つのチャレンジを掲げ、「CO2ゼロ」と「(ゼロにとどまらない)プラスの世界」の実現に取り組んでいます。事業を通じてSDGsに継続して取り組む姿勢がイメージの向上につながっているものと推測されます。両社の共通点は、自社事業のなかで「本気でSDGsへの取り組みを進めている」点です。上辺だけではないその姿勢が、多くの生活者の評価、共感につながっているのではないのでしょうか。見習いたいですね！

「Japan Sustainable Brands Index調べ」



今月のこの人  
一ノ瀬 マネージャー

一昨年は年末に思わぬ事で、隔離生活となり年末の大掃除も出来ぬまま年明けを迎えました。昨年は1年ぶりに、各部屋の大掃除を行いました。今までは拭いて終わりにしていた、電球を今回は気合を入れてLED電球へと交換しました。今まではそれ程気にしていなかった電球のワット数ですが、見てみると意外に小さな電球でも60Wで夜間玄関灯はつけっぱなし、階段やトイレ、ふる場とかかなりの電球があり、リビングに至っては100Wの電球を最大6個つける事もあり、蛍光灯でない白熱電球が、32個も我が家にはありました。以前よりはLED電球も安くなったとはいえ、1個で2,000円前後するので、全ては替えられませんがメインどころはチェンジしました。1個の電球で約86%の節電が出来るらしく、期待した1月の電気代請求がきましたが、電気代値上の嵐に飲み込まれ、節電効果が実感できる金額ではなかったですが、CO2削減は出来たと思います。今後に期待！

\* 次回はこの人 岩淵さん